学校番号	１００７

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	子ども文化	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	児童文化研究						
使用教科書	「子ども文化」　（文部科学省）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇児童文化財の製作を通して、子どもの発達の理解を深めましょう。
〇実践的な学びの場として小学校実習を予定しています。

2　学習の到達目標

・子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させる。
・児童文化の充実を図る能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの遊びや児童文化財に関心を持ち、意欲的に取り組み、子ども達と積極的に関わることができる実践的な態度を身につけているか。	子どもの心身の発達を理解し、それぞれの年齢に応じた児童文化財や活動の選び方や与え方などを具体的に考え、小学校実習において活用できるか。	造形・言語・音楽・身体表現活動の技術を身につけ、小学校実習等において積極的に表現できるか。	こどもにとっての遊びの意義や、心身の発達について理解するとともに、それぞれの活動や文化財の特徴や活用方法を理解しているか。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作計画、調理計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作計画、調理計画、実習記録表、レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表、定期テスト、実技テストの結果、実習態度、自己評価・相互評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作計画、調理計画、実習記録表、レポート、発表、定期考査の結果等。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	児童文化とは何だろう 子どもと遊び	○児童文化とは ○児童文化を歴史から見る ○遊びの意義と発達 ＊児童文化財製作 紙染め 学級新聞 折り紙	○	○ ○	○	○ ○	a:児童文化に関心を持ち前向きに取り組めている。 b:作品に創意工夫があり、子どもの発達に応じた児童文化財や遊びを考えることができる。 c: 子どもとの適切な関わり方や発達を支える技術を身に付けている。 d:児童文化や発達に応じた遊びについての理解を深めることができた。	・授業プリント ・作品完成度 ・授業態度
2ターム	子どもと遊び	○遊びの現状 ○遊びと遊具・玩具 ○遊びと伝承 ＊児童文化財製作 名札 箱作り 折り紙 など ＊小学校実習１回目	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:時代背景を踏まえた子どもの遊びに関心を持ち前向きに取り組めている。 b:作品に創意工夫があり、子どもの発達に応じた児童文化財や遊びを考えることができる。 c: 子どもとの適切な関わり方や発達を支える技術を身に付けている。 d:児童文化や発達に応じた遊びについての理解を深めることができた。	・考査 ・授業プリント ・作品完成度 ・実習への取り組み ・実習レポート ・授業態度
3ターム	子どもと表現活動	○子どもの表現活動のおもしろさ ○造る・描く ○言語表現活動 ○歌う・踊る・演奏する ＊児童文化財製作 こけし 折り紙　など ＊小学校実習２回目	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:子どもの表現活動に関心を持ち前向きに取り組めている。 b:作品に創意工夫があり、子どもの発達に応じた児童文化財や遊びを考えることができる。 c: 子どもとの適切な関わり方や発達を支える技術を身に付けている。 d:児童文化や発達に応じた遊びについての理解を深めることができた。	・授業プリント ・作品完成度 ・実習への取り組み ・実習レポート ・授業態度

4ターム	現代の子どもの生活と文化	○テレビ、キャラクター、ゲーム ○子どもと年中行事 ○児童文化のための施設 ＊児童文化財製作 羽子板 カルタ ビー玉ゲーム など		 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:現代の子どもの生活と文化に関心を持ち前向きに取り組めているか。 b:作品に創意工夫があり、子どもの発達に応じた児童文化財や遊びを考えることができるか。 c: 子どもとの適切な関わり方や発達を支える技術を身に付けている。 d:児童文化や発達に応じた遊びについての理解を深めることができたか。	・考査 ・授業プリント ・作品完成度 ・実習への取り組み ・実習レポート ・授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。